



田尻町議会だより

# たじりの風

8587

Vol.110

平成29(2017)年  
2月1日発行

■発行/大阪府田尻町議会 ■編集/議会広報委員会 大阪府泉南郡田尻町嘉祥寺375番地1 電話 072-466-5000



## ご成人おめでとうございます

今年は136名の方が新成人になりました



### 主な内容

- ★ 一般質問 ..... 2 頁
- ★ 委員会報告 ..... 5 頁
- ★ 研修会・視察報告 ..... 7 頁
- ★ この人にインタビュー ..... 8 頁

# 一般質問

- 大門 久恭 議員 1. 田尻町営プールの利活用について
- 東 小夜子 議員 1. 脊柱側彎症の早期発見について  
2. 産業の振興について
- 金田 裕治 議員 1. 吉見ノ里駅周辺の活性化について
- 坂口 実 議員 1. シティプロモーションについて  
2. 漁港横の府有地について
- 吉開 育子 議員 1. 大阪府の福祉医療費助成制度見直しについて  
2. 高齢者の福祉施策について  
3. 町営住宅の家賃減免制度の実施を求めることについて
- 仁部 順行 議員 1. 地震や災害にそなえ全戸に非常用持出し袋の配布について  
2. 町長が進める三世代同居、近居の施策の推進に不妊症治療費助成の拡充について

※この一般質問の内容は、各議員の責任のもと記載しております。



大門 久恭 議員

## 問 田尻町営プールの温水化を

### 答 現施設での計画はない

**問** 現在、町営プールの使用期間は6月1日から9月末までの4ヵ月間だけである。後の期間は水を張っているだけで使用していない状態である。以前より温水プール設置の要望があるので、既存のプールをドーム型テントにすれば、新規に建設するよりもコストがかからない。1年中使用できるように温水化すれば、これから高齢化社会が進んでいく中、町民の皆さんの健康促進にも役立つ。また、災害時には避難場所としたり、プールの水を生活水として利用できるメリットもあるので整備してはどうか。

**答** **社会教育課長** 田尻町営プールの開設期間の4ヵ月間で、学校・園・所の学校水泳を始め警察学校や水泳連盟、指定管理者が実施する水泳教室など、目的を十分に達成している。期間以外にプール槽に水を張っているのはシートの劣化防止対策と防火用水の役割がある。温水化し通年使用すると空調設備も必要となり、さらに付帯設備となる駐輪場や駐車スペースの課題もある。現状の施設内のバリアフリー化、管理棟も含めた全面的な改修、温水化や空調設備のランニングコストを含めると相当な額になる。現施設でのドーム型テントの設置及び温水化する計画はない。



東 小夜子 議員

## 問 脊柱側弯症の早期発見にモアレ検査導入を

答 小・中学校で導入する

**問** 脊柱側弯症は成長期の子ども、特に10代の女子に多く脊柱がS字に曲がるという難病である。症状が進行すると腰や背中痛み、肺機能の低下をもたらす場合によっては命に危険が及ぶとされている。早期発見することで専用の装具をつけて脊柱が曲がることを抑えることができる。しかし病気の存在自体を知らない保護者も多く症状がある程度進行してしまってから発症に気づく場合が多い。田尻町でもモアレ検査を導入しては。

**答** **学事課長** モアレ検査は体の表面のゆがみを見るために開発された特殊なカメラで、客観的な

データとして安定しており、視触診で発見できなかった早期の脊柱側弯症の発見が期待できるため本町小・中学校で導入する。

## 問 黄たまねぎ、田尻海の駅の振興支援は

答 連携しながら進めていく

**問** 施政方針に地元農産物の生産振興エコ農産物の導入など農業の担い手を支援するとあるが、吉見早生たまねぎについてはどの様に考えているのか。田尻漁港などの観光資源をより一層アピールするとあるが、どの様に振興支援していくのか。

**答** **産業振興課長** 農業者と協議を積極的に行い地元農産物の生産振興を図っていく。海の駅として田尻漁港のPRと各種のイベント開催や情報発信について漁業組合と連携しながら取り組みを進めていく。



金田 裕治 議員

## 問 吉見ノ里駅周辺の活性化についての公約の進捗は

答 平成28年度末に策定する都市計画マスタープランに沿って進める

**問** 平成28年度施政方針において吉見ノ里駅を町の玄関口にふさわしい物とし、地域全体の活性化につながるように検討していくと述べているが、現在の進捗はどうなっているのか。

**答** **都市政策課長** 今年度都市計画マスタープランの改定作業を行っており、審議会を通じて平成28年度末に策定される都市計画マスタープランの方向性に沿って取り組みを進めていく。

の整備が記載されており、策定から6年以上経っているがいまだにタイムスケジュールすら組まれていないのはいかがなものか。

**答** **都市計画課長** 総合計画に基づいて、踏切の拡幅や駅前広場の検討をしてきたが、その中で難しい問題が出てきている。

**問** 駅周辺の活性化といってもいろいろあると思うが、町長のイメージしている活性化とはどのようなものか。

**答** **町長** いわゆる玄関口なので、きれいにしなくてはならない。みんながそこを笑顔で通れるようなところになりたい。

**問** 第4次総合計画においても駅舎の改修や駅周辺



坂口 実 議員

**問** シティプロモーションの進捗は

**答** 観光及び産業の振興に繋げていきたい

**問** 平成28年度施政方針の中に、「まちの魅力を発信し、転入者の増加を図るため、シティプロモーションに積極的に取り組んでまいります」とある。町民税減税、三世同居近居、ふるさと納税制度拡充のほか、手段や産業振興への効果もあわせて、具体策の進捗状況を各課よりの報告を求める。町としてSNSの積極的利用をするべきではないか。

**答** **企画人権課長** たじりっちの積極的運用。その他予算要求の段階ではあるが、婚姻の証明や他の各種証明書にたじりっちを印刷したり、観光パンフレットの作成や漁港の活性化、吉見早生のPR、8000人の健康大家族プランなど検討している。SNSとしてはフェイスブックを運用していく。

**問** 漁港横の府有地の取得は

**答** 協議や調整をおこなっている

**問** 総合体育館建設を前町政は推進し、町議会は次年度予算案から、取得建設関連予算を削除した修正案が可決され、町議会の改選により、ある一定の審判が下された。その約7ヵ月後の町長選挙で、白紙撤回を掲げた栗山町長が当選され、はや1年が経過した。府有地取得はしなけりばならないと考えるが、土地利用の具体案はあるのか。

**答** **企画人権課長** 現在の総合計画においても、この一帯を町の顔となり核となる交流ゾーンと位置づけ、様々な角度から協議、調整をおこなっている。

**答** **副町長** 都市計画マスタープランの策定が現在進み、審議会委員には学識者や町議会議員や町民代表が入り、方向性の記載が検討されている。その案を踏まえて議論をおこない改めて議会に提示する。



吉開 育子 議員

**問** 町独自の措置で福祉医療助成制度の対象者を守るべき

**答** 府の制度見直し状況を踏まえて対応する

**問** 大阪府は、乳幼児・ひとり親家庭・障害者・老人が対象の福祉医療費助成制度の改定を進めている。助成対象を一部拡大するものの、必要経費は患者負担増や対象者の一部を外すことでまかなう方向である。現行の患者の窓口負担額は1回通院して調剤薬局で薬をもらっても500円が、見直し案で、調剤薬局でも500円の負担が必要になる。1医療機関あたり月2回分1000円の負担上限もなくなり、複数の医療機関にかかった場合の負担上限も、平均すれば4500円程度に引き上げられるとも言われている。これでは受診が必要な人ほど負担が何倍にもなり、受診抑制につながる。また老人医療費助成制度を廃

止すれば、65歳以上で精神1級以外の精神通院患者や重度以外の難病患者などが対象外になる。まだ決定ではないが、たとえ府が改定を行っても対象者の負担増にならないよう町独自の施策を行い制度の対象者を守るべき。

**答** **住民課長** 府がまだ見直しを検討しており、今後の大阪府の見直し状況等を踏まえ、適切に対応していく。

**問** 65歳以上の高齢者に敬老年金復活を求める

**答** 節目に祝い金として支給している

**問** 共産党議員団が行った「町民アンケート」で、高齢者世帯が実感できる町独自の施策実施が必要という問いに55%の支持があった。以前行っていた65歳以上の高齢者の敬老年金復活を求める。

**答** **福祉課長** 敬老年金は節目に祝い金として行っており、考えていない。



仁部 順行 議員

## 問 地震や災害に備え、全戸に非常用持出し袋の配布を

答 議論して考えていく

**問** 熊本地震の発生や近い将来に発生が予想される南海トラフ地震や津波の発生に備えるために、非常用持出し袋の配布を。ラジオ、懐中電灯、救急箱セット、水、乾パン、コップ、食器セット、ローソク、ロープなど、財政的に余裕のある今、住民の命を守るための支援をしては。

**答** 現在は、小学生に防災グッズを配布しており、子どもを通じて家族で防災について話すきっかけとなり、非常に意義があると思う。全戸配布については、議論したうえで考えていく。

## 委員会報告

### 総務建設常任委員会

委員長 大門 久 恭

総務建設常任委員会に付託されました案件の審査結果、並びに経過報告。  
(12月8日開催)

◎農業委員会の委員の定数を定める条例制定の件  
(条例の制定) 【全会一致で可決】

**問** 本条例制定後の定数13名の委員構成はどうなるのか。

**答** 今回の改正により農業関係者が12名、農業関係者以外からが1名の13名となる。

**問** 委員の選考過程はどのように行っていくのか。

**答** まず、町から公募、推薦を行い、次に地域の農業者団体からの応募を行い、評価委員会を設け、議会で同意をいただき任命するものである。

◎田尻町議会議員報酬等条例一部改正の件  
(条例の一部改正) 【全会一致で可決】

**問** 府内町村の状況について把握しているのか。

## 問 不妊症治療費助成の拡充を

答 国や府の動向を見て考えていく

**問** 町長が進める3世代同居、近居の施策の推進に不妊症治療費助成の拡充について。不妊症の治療費は保険適用外もあるため、治療を受けたくても受けられない方のために治療費助成の拡充をしてはどうか。

**答** 一般不妊治療は保険適用で、特定不妊治療は保険適用外のものが多くなっている。特定不妊症治療費の助成は、大阪府が少子化対策の一環として実施しており、田尻町においても平成27年度より一般不妊症、男性不妊症、不育症に係る治療費等を年度ごとに上限5万円を助成している。助成金額については事業開始前に医師会の先生に相談し、実際に対象者の方が負担する金額や、過剰な治療や検査につながらないなどの助言を受け、現在の上限額を決定している。今後、実績を積み重ねる中で医療の状況、国や府の動向を見ながら適正な助成内容を見極めていく。

**答** 一般職と同様、給与改定を実施することを確認している。

◎特別職の職員の給与に関する条例一部改正の件  
(条例の一部改正) 【全会一致で可決】

◎田尻町一般職の職員の給与に関する条例一部改正の件  
(条例の一部改正) 【全会一致で可決】

**問** 今回の条例改正により、配偶者に対する扶養手当が段階的に減額され、子どもに対する扶養手当は段階的に増額されるが、何人の職員が該当するのか。

**答** 扶養手当の受給職員数は74人であり、内47人が配偶者を扶養している。なお、配偶者だけ扶養している職員は6人である。

◎田尻町職員退職手当に関する条例一部改正の件  
(条例の一部改正) 【全会一致で可決】

**問** 今後において、本条例改正に該当する職員の採用は考えているのか。

**答** 本町において、65歳以上の正規職員の採用は考えていない。

◎平成28年度田尻町一般会計補正予算(第3号)の件

(900万円の増額) 【全会一致で可決】

**問** 転入・定住促進助成を一人10万円の漁業協同組合に限る商品券とした理由は。

**答** 地域産業の活性化につながることで、ふるさと納税の返礼品にも漁業協同組合の商品券を既に活用しており、交付を受けた住民にとっても使い勝手の良い等の理由により助成品として選択した。

**問** 本制度は裕福な住民を対象にしているが、対象にならない住民に対しても、きめ細やかな施策を実施すべきと考えるがどうか。

**答** 他市町の状況を調査し、本町に活かせる事業があれば積極的に取り組んでいく。

◎平成28年度田尻町下水道事業特別会計補正予算(第1号)の件

(289万2千円の増額) 【全会一致で可決】

◎平成28年度田尻町水道事業会計補正予算(第1号)の件

(2万7千円の増額) 【全会一致で可決】

## 文教厚生常任委員会

委員長 明 貝 一 平

文教厚生常任委員会に付託されました案件の審査結果、並びに経過報告。(12月9日開催)

◎田尻町多目的グラウンド及び田尻町営プール指定管理者指定の件

(指定管理者の指定)【可否同数で委員長裁決で可決】

**問** 三幸(株)の提案内容において、午前8時から午後10時まで開場時間としているが、以前に近隣住民からの苦情により、現状の午前9時から午後9時までとなった経緯があると思うが、この点についてどう考えているのか。

**答** 以前、テニスの打球音が影響し、近隣から申し入れがあり、現在は午後9時までの利用としている。今後においては、指定管理業者から騒音の出ない種目を中心に近隣の皆さんに迷惑のかからない運営を行っていくことを確認している。

**問** 指定管理ではなく、直営で事業実施すべきと考えるが、その議論は行ったのか。

**答** 施設の管理運営にかかる経費の削減、民間のノウハウを活用した運営による利用者の拡充と施設の効果は既に示されており、引き続き指定管理者制度による管理運営を行っていく。

**問** 提案書の内容どおり実施することにより、住民の体育の推進、健康増進につながるものと思ってい

る。指定管理者は、提案内容を確実に進めていく義務があると思うがどうか。

**答** 三幸(株)は、人材、設備、情報のリスク管理をスタッフ研修の実施により、施設へのサポートの充実を行っており、安心して管理を任せることが出来る。事業についても提案どおり確実に実施するものと考えている。

**問** 評価ポイントとして、施設機能を十分に生かした運営面の充実が37点、経費面が40点であり、同等の評価点とすべきと考えるがどうか。

**答** 指定管理とする上で、経費面が第一と考えているが、評価点においては、経費面に40点、提案工夫出来ることの対策に60点を配分しており、総合的に判断した。

**反対討論** 競技人口の見込めない競技の提案、現在の一般利用者との調整、公民館事業との重複、町民だけの管理運営の実施など疑問点が多く、要綱における評価基準における点数配分を見直し、再度プロポーザル提案を実施すべきであり反対する。

**賛成討論** 施設利用者や近隣住民に迷惑にならないように運営することをお願いして賛成とする。

◎田尻町税条例一部改正の件

(条例の一部改正) 【全会一致で可決】

**問** 本条例に該当する外国人の人数は。

**答** 現在のところは、本条例に該当する外国人はいない。

◎平成28年度田尻町一般会計補正予算(第3号)の件

(900万円の増額)【可否同数で委員長裁決で可決】

**反対討論** 議案第59号「田尻町多目的グラウンド及び田尻町営プール指定管理者指定の件」で反対したことから、本補正予算に指定管理業務の債務負担行為補正が計上されているため同様に反対する。

◎平成28年度田尻町国民健康保険特別会計(事業勘定)補正予算(第2号)の件

(228万円の減額) 【全会一致で可決】

◎平成28年度田尻町後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)の件

(7万4千円の増額) 【全会一致で可決】

◎平成28年度田尻町介護保険特別会計補正予算(第2号)の件

(946万4千円の増額) 【全会一致で可決】

# 平成28年度 町村議会広報研修会報告

議会広報委員 金田裕治

日時 平成28年 10月26日

会場 シェーンバッハ・サポー（砂防会館別館）

田尻町議会広報委員会を代表して広報研修会に参加しました。

内容は「分かりやすく、伝わる広報誌」「読まれて、伝わる議会広報誌」「優秀賞受賞紙から学ぶ企画編集」でした。

多くの住民は議会の広報誌を読みたいとは思っていないという講師の言葉が印象的でした。

短い文章で伝える方法、写真の入れ方、読み手の気持ちを考える等、改善点を学ぶことが出来ました。

これまで以上に田尻町議会として議会だよりを多くの住民の方々に読んで頂ける、また読みたいと思っ頂ける広報誌を目指します。



## 「キラリと輝く」石川県川北町を視察しました

田尻町議会議長 小川雄司

田尻町議会は、昨年10月17日に、総務建設常任委員会と文教厚生常任委員会との合同視察をしました。川北町は人口約6,100人で田尻町と人口規模も似ていて、手厚い各種福祉施策、公共料金の低廉化及び少子化対策に力を入れ、人口を増加させています。

手取川がもたらす豊富な水と肥沃な土壌により、県内有数の穀倉地帯として発展してきました。近年は、企業誘致により農・工・商のバランスのとれた町づくりをすすめることで、税収を増加させて、手厚い福祉施策、公共料金の低廉化で人口減少に歯止めをかけています。



川北町ふれあい保健センター視察

それらの施策の充実が呼び水となり、町の人口は、飛躍的な増加傾向にあります。財政力指数は、田尻町の半分近くでありながら、田尻町と比較して、一部に進んでいる福祉・公共料金低廉化策を実施しています。

田尻町議会として、今回の視察の成果を議員それぞれの議会活動に取り入れ、川北町の進んだ施策を本町でも実施していただけるよう励んでいきたいと存じます。



川北町議会事務局にて研修

## 審議結果

意見が分かれた議案名	審議結果	仁部 順行	明貝 一平	吉開 育子	小川 雄司	東 小夜子	中川 達夫	大門 久恭	小林 健治	金田 裕治	坂口 実
田尻町多目的グラウンド及び田尻町営プール指定管理者指定の件	原案可決	○	○	×	議	○	×	×	○	○	○
田尻町一般職の職員の給与に関する条例一部改正の件	原案可決	○	○	○	議	○	○	○	○	○	×
平成28年度田尻町一般会計補正予算（第3号）の件	原案可決	○	○	×	議	○	×	×	○	○	×
地方議会議員の厚生年金制度への加入を求める意見書	原案可決	○	○	○	議	○	×	×	×	○	×

○…賛成 ×…反対 議…議長のため賛否なし

## 意見書

### 地方議会議員の厚生年金制度への加入を求める意見書

賛成5、反対4で可決

#### 趣旨

国民の幅広い政治参加や地方議会における人材確保の観点から、地方議会議員の厚生年金制度加入のための法整備を早急に実現するよう強く要望する。【一部抜粋】

提出者：明貝 一平 賛成者：東 小夜子

提出先：衆議院議長／参議院議長／内閣総理大臣／内閣官房長官／財務大臣／総務大臣／厚生労働大臣



田尻町消防団

やす みや  
団 長 安 宮

いさむ  
勇さん (59)

#### Q 糸魚川大火の感想は？

A 強風という自然の驚異の中での消火活動は無力だと感じました。田尻町も住宅が密集し路地が狭く消防車が入れない地域があり、同じような状況で火災が起これば大変なことになります。近年、町内での火災はないのでこれからも気を付けていただきたい。

#### Q 団に対する思いは？

A 22歳の時に入団し団員歴が一番長く、後継者をつつていきたい。  
大阪府の消防大会で小型ポンプの部で優勝したことがあります。今年9月に行われる府大会では、泉南地区代表でポンプ操法に出場することになっており練習に励んでいます。みんなの努力が実るように優勝したいと思っています。

#### Q 団の課題は？

A 去年は新しく7人の入団がありましたが、近隣の自治体に比べて団員定数に満たないのは田尻町だけで団員の確保に苦慮しています。消防団組織の確立のために、住民が参加しやすい活動環境を整え、幅広い層に参加を呼び掛けていきたい。



## 田尻町議会のチョット教えて



### SNSってナニ??



SNSとは「social networking service（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）」の略で、主に趣味、職業、居住地域などを同じくする個人間のコミュニケーションを目的とした、社会的なネットワークの構築を支援する、インターネットを利用したサービスのことです。主なものにはFacebook（フェイスブック）があります。